



はあもにい 第 49 号

発行日 年間 2 回(7 月・1 月)
 発行 社会福祉法人
 白老宏友会 法人本部
 編集 機関誌「はあもにい」
 白老郡白老町川沿 1 丁目 553-1
 TEL (0144) 85-3100

新年のご挨拶



白老宏友会 愛泉園家族の会
 会長 北原 明知

白老宏友会の皆様、センター、グループホーム各事業所の皆様、あけましておめでとうございます。新たな思いと共に新年を迎えられたことと思います。ご挨拶申し上げます。

愛泉園が生活介護事業所となり、五年が経過、この三月で六年目を迎えます。職員皆様の御努力、御指導のもと、子供達は頑張っております。

子供達の笑顔は私共父母にとって安堵でありこれからも健康で日々成長していつて欲しいと願うばかりです。

多忙な中、昨年無事に過ごせましたことは、ひとえに支援センターをはじめ、各事業所、グループホームの職員皆様の御努力のおかげだと深く感謝致しております。

支援、運営について未熟な私ではありますが、皆様、本年もどうかよろしく願い申し上げます。



白老宏友会 ポプリ家族の会
 会長 高橋 郁子

新年あけましておめでとうございます。平穩に新年を迎えることが出来たのも、ひとえに皆様からの暖かいご支援とご協力のおかげと深く感謝しております。

また、ポプリおよび白老宏友会関係の皆様には、本人のみならず家族のためにもご尽力を頂き、家族の会を代表して心からお礼を申し上げます。

さて、ポプリ家族の会では会員の高齢化が進んでおり、会の活動や施設行事への参加は年々減少を続けております。その一方で、措置制度から契約制度へ変わり、責任の所在や支援内容の明確化が進むにつれて、家族や施設の役割分担が求められてきています。

このような現状を踏まえ、本年は、家族の会会員の皆様、白老宏友会関係の皆様とともに、今後の家族の会のあり方について検討を行って参りたいと存じます。年頭にあたり、当家族の会がおかれている今の状況を十分にご理解いただいた上で、皆様の協力をお願い申し上げます。

皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



白老宏友会 みらいえ家族の会
 会長 北山 敦子

新年おめでとうございます。平素より皆様には大変お世話になり厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は「みらいえ」の開設5年目という節目に当たり、盛大な5周年記念旅行が七月と十月に開催されました。多くのご家族の参加を得て、とても楽しい思い出をつくることができました。ありがとうございます。

さて、開設当初と比べますと、「みらいえ」は利用者数、職員数共に増え大所帯になりました。加えて、利用者の状況も多様化しています。そのような中「みらいえ」では幅広い活動内容や個々に合った支援をとの努力を家族として実感しております。

利用者の皆さんが自分からやってみてみたい、やってみようと思える工夫、楽しい！と笑顔になれる活動となるよう、環境づくりに日々取り組んでいただいている職員皆様に心より感謝申し上げます。家族会としても今後ともできる協力と支援をして参りたいと存じます。

最後にこの新しい年がより良き年になるよう心より祈念いたしまして、私からの年頭の挨拶とさせていただきます。



白老宏友会
 理事長 茂木 静

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、社会福祉法人制度改正において経営組織のガバナンス強化にあたり、当法人も、評議員、理事が新しく選任されました。また、事業運営の透明性の向上の取り組みとしては法人のホームページを一新し、公表事項を明記し掲載内容も定期的に事業動向を広報することで、運営理解を深めていきたいものと考えております。

さて、近年の社会状況である高齢化社会は障がい者と同様の状況でありそこに伴う医療や生活環境、介護スキルさらには家族状況など利用者を取り巻く人生変化は共に歩む私達にとっても人生そのものであり「気遣いや思いやりを大切にし、向上心を忘れず共に出会って良かったと言える人生作りを目指す」という法人の支援理念を浸透させていく事と思っております。

三十年度の障がい福祉サービス等報酬改定が示される時期でもあり、法人の中期計画である日中支援事業所の定員と今後の受け入れニーズ、就労支援の白老駅北開発との連携、グループホームの新設(消防法の改正、高齢対応)内容を精査していく事が急務であり、役員一丸となって利用者支援に邁進したいと考えております。

年頭にあたり皆様のご健勝とご発展を祈願して新年のご挨拶とさせていただきます。

多機能型事業所「ポプリ」

第8回チャレンジドカップ〜夢のパン・菓子コンテスト〜決勝大会が12月9日（土）神奈川県横浜市で開催されました。同大会は、2003年から隔年で開催されており、障害者のパン・菓子の日本一を決める大会です。今大会では、ななかまどの十勝産小麦を使用した「道産粉田舎パン」がパン部門で1次審査、2次審査を通過し、決勝大会に駒を進めました。決勝大会は、ななかまどより代表で、3名の利用者（及川正裕さん、横丁啓太さん、梶田匠一さん）が参加し、それぞれが仕込み、焼成、成形を担当しました。いつもと違う環境に緊張していた3名でしたが、審査員の方の協力もあり、次第に緊張がほぐれ、いつも通りの力を発揮することが出来、見事金賞を受賞することが出来ました。初めての優勝に感極まり涙する場面が見られ、みんなの思いが実った瞬間でした。この栄えある受賞を糧に、今後も美味しい製品づくりに励んでいきます。生活支援員 桜庭 憲護



「道産粉田舎パン」初の金賞受賞に感極まり涙！

■第8回チャレンジドカップ〜夢のパン・菓子コンテスト

■自動車総連寄贈式

自動車総連より「ハイエース」を寄贈いただきました！



寄贈いただいた車両は町内送迎で活用させていただきます！

今年度上半、全国いすゞ自動車関連労働組合連合会より福祉車両寄贈のお話をいただき、8月上旬正式に寄贈が決定し、12月15日白老宏友会本部にて寄贈式が行われました。車両は、トヨタ・ハイエース（送迎仕様車）を寄贈していただき近郊（白老・苫小牧・登別）から通所する利用者の方の送迎や、日中活動などに大切に使用させていただきます。

全国いすゞ自動車関連労働組合連合会様、心よりお礼を申し上げます。有難う御座いました。

施設長 有城 雅章

■年末餅製造事業

昨年末も沢山の方にご協力いただき無事終了しました！

12月27日～30日まで行われました年末餅製造事業につきましては、白老町のお客様を中心にこの度も沢山のご注文をいただき、お歳暮ギフトと年末餅事業を合わせ12月中に約3トンの餅製品の製造を行い、昨年度同様の売上げを収め、利用者工賃の財源を確保することができました。年末のお忙しい中、沢山のご父兄の方、法人内の職員の方にご協力をいただき無事に事業を終えることが出来ましたこと、心より感謝申し上げます。本当に有難うございました。支援主幹 中道 康元

みらいえ5周年旅行

みらいえが開所してから5年目を迎えたこの年に記念旅行という形で記憶に残していきたいという思いから企画を進めてきました。利用者の方々の障がい特性や個々のニーズに応じて道内・道外の2パターンを用意しました。

道内旅行 ～旭川・富良野・帯広方面～

7月5日～7月7日の期間で道内旅行を実施しました。コースは旭川や富良野方面で有名な観光スポットである旭山動物園や青い池、ファーム富田などを巡りました。気温が30℃を超える真夏日でしたが、途中、休憩をはさみつつ、過ごしました。1カ所に滞在した時間は長くはありませんでしたが、ご家族で参加された方々もゆっくりと過ごせたように思いました。今回の旅行でメインイベントといっても過言ではない“気球体験”では生まれて初めて乗ったという方々も多く、一生の思い出になったように思います。中には「絶対に乗らない」という方もいらっしゃいましたが、最終的にはほとんどの方が参加する事が出来ました！！



道外旅行 ～ディズニーリゾート・東京スカイツリー～

道外旅行は10月11日～10月13日の日程で実施しました。今回は皆さんご存知のディズニーランド&シーとスカイツリー周辺を巡る旅行となりました。ペースは行動を共にするメンバーによって異なり、全アトラクション制覇を目指す班もいればゆっくりとショーやキャラクターとの触れ合いを楽しんだ方々もいらっしゃいました。現地は30℃近くにも気温が上がり、温度差にも驚かされました。最終日には東京スカイツリーから下町を見下ろしたり、浅草の街を散策しました。利用者の方からも「帰りは疲れて眠ってしまったが、充実した旅行であった」とお言葉をいただきました！！



生活介護事業所「愛泉園」

7月 “札幌”に行ってきました！【日帰り旅行】

『木下大サーカス』を見学、『羊ヶ丘展望台』で“オムライス”を食べました。サーカスは迫力満点でした！



8月 やきそば・くじ引き・ヨーヨー釣り…【夏まつり】



あいにくの空模様でしたが、皆さん同じ法被を着て、屋外で“出店”や“カラオケ”などで盛り上がりました！



9月 “もぎたて”いただきます！【くだもの狩り】



壮瞥町の『浜田園』に出かけました。“りんご”に“ぶどう”とても甘くて美味しくて、お腹いっぱいになりました。

10月 みんなで演奏！大迫力！【ドラムサークル】



色々な打楽器を叩き、皆さん1つになって演奏しました。

10月 “TRICK OR TREAT”【ハロウィーン】

衣装をしてグループホームなど周りまわした。



11月 “デコレーション”はおまかせ！【パフェ作り】



アイスにお菓子など盛り付けは自由自在！自分だけの“オリジナルパフェ”を作りました。



12月 “白老牛”おいしかったです！【忘年会】

『天野ファーム』で忘年会を開催しました。美味しい焼肉を食べ、抽選会で大盛り上がりでした！



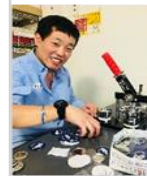
アイヌ文様



バッチ・マグネット

販売開始！

白老町商工会『商業観光活性化応援事業』助成金を受け、2020年に向け白老を盛り上げようと利用者の皆さんと制作！商品は白老町内のホテルや観光地などで“ガチャガチャ”として販売中！



「地域生活支援センターあぶろ」

レインボー・ミニコンサート
ル・リアン pg



11月18日(土)レインボーにてル・リアン pg によるミニコンサートがありました。ギター、ボーカル、電子ピアノの他に今回はマジックショーとウクレレの演奏、参加型のパーカッションの場もあり、1時間弱のコンサートでしたが大変盛り上がりました。



スクワープ！
サンタとツリーの
ツッシュット！

12月9日(土)白老コミュニティセンターにて第1支援課のクリスマス会を行いました。利用者さんとともに支援員・世話人も一緒にダンスを楽しみ、皆さんのにこやかな笑顔がサイコーでした。



9月2日(土)～3日(日)は・・・
青葉会の旅行 in 洞爺湖

この日は利用者 45 名、職員 19 名の参加により洞爺方面に一泊旅行へ行きました。余興としてお玉リレーをして、大歓声の中盛り上がりました。



(バーベキュー～グループホームとも)



外食～びっくりドンキー



誕生会～グループホーム「かい」



(花火大会～グループホームいころ)

あぶろ第2、第3支援課では各ホームで色々な行事を行いました。夏は花火や BBQ を楽しみ、誕生日には利用者さんのリクエストを聞いて外食にでかけたり、地域に出向くことが増えました。利用者さんも楽しめたようでした。



外食～つば八にて

特定相談支援事業所「ゆから」

平成 27 年 4 月 1 日開設した相談支援事業所「ゆから」は、障害者自身が望む自立した社会生活を営むことができることを目的として、本人に合った適切なサービス利用ができるように関係機関と連携・情報共有しながら計画相談を行っています。

- ・サービス利用支援…支給決定または支給決定の変更前に、サービス等利用計画を作成。支給決定または変更後、サービス事業者等との連絡調整
- ・継続サービス利用支援…支給決定後、厚生労働省で定める期間ごとにサービス等の利用状況の検証を行い計画の見直しを行う（モニタリング）。サービス事業者等の連絡調整、支給決定または変更に関わる申請の勧奨。

各種研修については、白老町自立支援協議会相談支援部会に出席し、スキルアップと地域の課題等について取り組み、資源の確認や課題抽出、計画相談技術の向上を図っています。東胆振圏域指定相談支援事業所連絡協議会に出席して、圏域の実態の状況把握、情報収集等を行い、胆振圏域・相談支援従事者講座では精神障がい・発達障がいなどの特性の理解と、事例提供に基づいた計画相談技法の学習等を行いました。

「ゆから」とはアイヌ語で「縁」を意味します。相談支援の業務を通じ利用者との縁を大切にしていきたいと思えます。

※ 相談支援件数=125 件、初期計画 63 件、継続計画 190 件、計 253 件 (H28 年度)

短期入所「地域生活支援センターあぶろ」

共生型事業所はあもにい内に居室等の設備を利用し、日中事業所の利用者を自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含め入浴、排泄、食事の介護等の支援を必要に応じて行ってきました。利用日数は 1 泊 2 日、2 泊 3 日の利用から各自申請された受給者証サービス期間の 7 日・14 日以内の利用に対応しています。児童の受け入れにも対応することができました。近隣の日中事業所及び日中一時支援等のサービス利用の調整なども行いました。

利用状況（年間）

- 1.最大利用者数 17 名
- 2.延利用者数 169 名



短期入所～夕食時の様子

～障害者総合支援法についての情報～

皆さんご存知でしょうか、平成 30 年 4 月は障害者総合支援法の報酬改定が行われる年となります。同時に制度の改定もされることから、その内容に着目し、より有効なサービス提供に心掛けなければなりません。

制度変更について正式な発表は 2 月と思われませんが、一部情報についてお知らせいたします。

1、グループホームについて

新たに「日中サービス支援型指定共同生活援助」が創設されます。

*重度障害者や高齢の障害者等の地域移行や地域生活を支援する新たな類型のサービスです。最大 10 名 2 ユニットのグループホームで日中を含めて見守りや支援を受けられます。尚、設備概要は公表されていますが、単価や運用方法における詳しい内容は公開されていません。只今 12 月 12 日から 1 月 10 日まで厚生労働省のホームページで「パブリックコメント」を募集中です。

2、一人暮らしの支援について

新たに「指定自立生活援助」が創設されます。

*利用者が地域において自立した生活を営むことができるよう、定期的な巡回又は随時の通報を受けて行う訪問、利用者からの相談対応等により利用者の状況を把握して、必要な情報の提供及び助言その他必要な支援を行う事業です。

3、共生型サービスについて

当法人が行っている地域との連携事業も共生型といいますが、今回制度化されるものは、同一事業所で一体的に介護保険と障害福祉サービスを提供するシステムです。

4、「食事提供体制加算」については、廃止される予定でしたが、その必要性が認められ、3 年間の継続となりました。

*なお、今後変更もあり得ます。詳細の確認は厚生労働省のホームページをご覧ください。
(常務理事 北平 保)

寄付・助成金・施設整備事業、等
「ポプリ」*自動車連連よりトヨタハイエース

新任職員紹介（H29.7 月以降採用）

「愛泉園」

*土井 仁（生活支援員）H29.7.11

「ポプリ」

*中村 義裕（職業指導員）H29.9.11

*八木 圭子（看護師）H29.11.1

「あぶろ」

*大宮 翔（生活支援員）H29.8.15

*大林 英俊（生活支援員）H29.8.25

*恩田 則子（生活支援員）H29.9.15

「みらいえ」

*今野貴代美（生活支援員）H29.10.1

平成 28 年度決算報告並びに事業報告については当法人ホームページに掲載しておりますのでご覧ください
HP アドレス www.shiraoi-kouyuukai.jp/

編集後記・・・「1 月は行く」「2 月は逃げる」「3 月は去る」と昔から言われていますが、毎月あっという間に過ぎ去り、桜の季節になりますね。1 年があっという間なのは時速年齢のせいかもしれません。たとえば、18 歳なら時速 18 キロで 1 年が過ぎ、53 歳なら時速 53 キロで、75 歳なら時速 75 キロということ。同じ 1 年なのに年齢を重ねるとこんなにスピード感が違うんですね。春は「別れと出会い」の季節となりますが、笑顔を忘れず、パワフル&ビューティフル&「ワン」ダフルな一年になりますように毎日をお過ごししたいと思います。今年もどうぞ宜しくお願い致します。(法人本部事務 中辻 千恵)

